



FPolicy設定に関する情報を表示する ONTAP 9

NetApp
December 20, 2024

目次

FPolicy設定に関する情報を表示する	1
showコマンドの機能	1
FPolicy設定に関する情報を表示するコマンド	1
FPolicyポリシーのステータスに関する情報を表示する	2
有効なFPolicyポリシーに関する情報を表示する	3

FPolicy設定に関する情報を表示する

showコマンドの機能

コマンドの仕組みを理解しておく、FPolicyの設定に関する情報を表示するときに役立ち`show`ます。

パラメータを追加せずにコマンドを実行すると、`show`情報が要約形式で表示されます。また`show`、各コマンドには、同じ2つのオプションパラメータ、および`-fields`あり`-instance`ます。

コマンドでパラメータを`show`使用する`-instance`と、コマンド出力には詳細情報がリスト形式で表示されます。場合によっては、詳細な出力に時間がかかり、必要以上の情報が含まれることがあります。パラメータを使用すると、指定したフィールドの情報のみが表示されるように出力をカスタマイズできます`-fields fieldname[,fieldname...]`。指定できるフィールドを特定するには、パラメータのあと`-fields`にと入力します`?`。



パラメータを指定したコマンドの`-fields`出力には`show`、要求したフィールドに関連する他の関連フィールドや必要なフィールドが表示される場合があります。

すべて`show`のコマンドには、その出力をフィルタリングして、コマンド出力に表示される情報の範囲を絞り込むことができる1つ以上のオプションパラメータがあります。コマンドで使用可能なオプションパラメータを確認するには、コマンドのあとに`show`と入力し`?`ます。

`show`コマンドでは、UNIX形式のパターンおよびワイルドカードがサポートされ、コマンドパラメータ引数の複数の値を照合できます。たとえば、ワイルドカード演算子（`*`）、NOT演算子（`!`）、OR演算子（`|`）、範囲演算子（`integer...integer`）、less-than演算子（`<`）、greater-than演算子（`>`）、less-than-or-equal-to演算子（`\<=`）、greater-than-or-equal-to演算子（`\>=`）を指定する場合に使用できます。

UNIX形式のパターンおよびワイルドカードの使用の詳細については、[を参照してください](#) [ONTAPコマンドラインインターフェイスの使用](#)。

FPolicy設定に関する情報を表示するコマンド

FPolicy外部エンジン、イベント、スコープ、およびポリシーに関する情報など、FPolicyの設定に関する情報を表示するには、コマンドを使用し`fpolicy show`ます。

FPolicyに関する情報の表示	使用するコマンド
外部エンジン	<code>vserver fpolicy policy external-engine show</code>
イベント	<code>vserver fpolicy policy event show</code>
スコープ	<code>vserver fpolicy policy scope show</code>

ポリシー	<code>vserver fpolicy policy show</code>
------	--

詳細については、各コマンドのマニュアル ページを参照してください。

FPolicyポリシーのステータスに関する情報を表示する

FPolicyポリシーのステータスに関する情報を表示して、ポリシーが有効になっているかどうか、使用するよう設定されている外部エンジン、ポリシーのシーケンス番号、およびFPolicyポリシーが関連付けられているStorage Virtual Machine (SVM)を確認できます。

タスクの内容

いずれのパラメータも指定しない場合、次の情報が表示されます。

- SVM名
- ポリシー名
- ポリシーのシーケンス番号
- ポリシーのステータス

クラスタまたは特定のSVMで設定されているFPolicyポリシーのステータスに関する情報の表示に加え、コマンドパラメータを使用して、他の条件によってコマンドの出力をフィルタリングすることができます。

パラメータを指定すると、リストされているポリシーに関する詳細情報を表示できます `-instance`。また、パラメータを使用して、指定したフィールドのみをコマンド出力に表示したり、使用できるフィールドを確認したり `-fields ?`` することもできます ``-fields`。

ステップ

1. 適切なコマンドを使用して、FPolicyポリシーのステータスに関する情報をフィルタリングして表示します。

ステータス情報を表示するポリシー	入力するコマンド
クラスタのポリシー	<code>vserver fpolicy show</code>
指定したステータスのポリシー	<code>`vserver fpolicy show -status {on</code>
<code>off}`</code>	指定したSVMのポリシー
<code>vserver fpolicy show -vserver vserver_name</code>	指定したポリシー名のポリシー
<code>vserver fpolicy show -policy-name policy_name</code>	指定した外部エンジンを使用するポリシー

例

次の例は、クラスタのFPolicyポリシーに関する情報を表示します。

```
cluster1::> vservers fpolicy show
```

Vserver	Policy Name	Sequence Number	Status	Engine
FPolicy	cserver_policy	-	off	eng1
vs1.example.com	v1p1	-	off	eng2
vs1.example.com	v1p2	-	off	native
vs1.example.com	v1p3	-	off	native
vs1.example.com	cserver_policy	-	off	eng1
vs2.example.com	v1p1	3	on	native
vs2.example.com	v1p2	1	on	eng3
vs2.example.com	cserver_policy	2	on	eng1

有効なFPolicyポリシーに関する情報を表示する

有効なFPolicyポリシーに関する情報を表示して、使用するよう設定されている外部エンジン、ポリシーの優先度、およびFPolicyポリシーが関連付けられているStorage Virtual Machine (SVM)を確認できます。

タスクの内容

いずれのパラメータも指定しない場合、次の情報が表示されます。

- SVM名
- ポリシー名
- ポリシーの優先度

コマンドパラメータを使用すると、指定した条件でコマンドの出力をフィルタリングできます。

ステップ

1. 適切なコマンドを使用して、有効なFPolicyポリシーに関する情報を表示します。

情報を表示する有効なポリシー	入力するコマンド
クラスタのポリシー	<code>vservers fpolicy show-enabled</code>
指定したSVMのポリシー	<code>vservers fpolicy show-enabled -vservers vservers_name</code>
指定したポリシー名のポリシー	<code>vservers fpolicy show-enabled -policy-name policy_name</code>
指定したシーケンス番号のファイル	<code>vservers fpolicy show-enabled -priority integer</code>

例

次の例は、クラスタの有効なFPolicyポリシーに関する情報を表示します。

```
cluster1::> vserver fpolicy show-enabled
Vserver                Policy Name                Priority
-----
vs1.example.com        pol_native                 native
vs1.example.com        pol_native2                native
vs1.example.com        pol1                       2
vs1.example.com        pol2                       4
```

著作権に関する情報

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。